

## 健康都市連合及び同日本支部への加盟について

### ●加盟を申請

WHO 西太平洋地域事務所の呼びかけで平成15年10月に設立されました「健康都市連合」及び「同日本支部」に、平成22年6月21日付で加盟の申請を行いました。

### ●加盟時期等

健康都市連合の日本支部への加盟につきましては、去る6月22日に承認され、同支部のホームページで公表されました。

健康都市連合への加盟については、健康都市連合理事会での承認後となります。

(日本支部には、多治見市、名古屋市、大府市、北名古屋市などが加入、亀山市は県内初、全国で25番目の加入となります。なお、健康都市連合加入には、おおよそ6～8週間程度かかります。)

### ●加盟の効果

健康都市連合に加盟することにより、住民の健康を守り生活の質を向上させるという、目標や目的を共有する都市との連携や情報の共有が図られ、市民の健康に関する課題への取り組みの強化につながるものと考えています。

### 【亀山市の健康づくりに関する取組み】

亀山市の健康政策については、現在、市の最上位計画である第1次亀山市総合計画において位置づけを行っており、市民が身体も心も健康で安心できるまちを目指しています。

そして、保健サービスの充実や主体的な健康づくりの推進などについて、乳幼児発達支援や予防接種の普及による疾病予防、あいあい体操教室や介護予防教室など、積極的に施策を展開しています。

また、現在、住民の健康増進の推進に関し、市の健康づくり指針となる「亀山市食育推進・健康増進計画（仮称）」について、平成23年3月の策定に向け、策定委員会を設置し検討を進めています。

### 【亀山市地域医療再構築プランでの取組み】

平成22年2月に策定いたしました「亀山市地域医療再構築プラン」におきましても、市民と行政が一緒になった健康なまちづくりを進めるための具体的な取り組みとして、健康都市連合への加盟を盛り込んでおり、健康都市を目指す国内、国外の都市との連携や情報共有による市の取り組み強化や、市民の自主的な活動を促進することで、健康文化・亀山モデルの創造に向けて取り組んでまいります。

## 「第1次亀山市総合計画」(抜粋)

### ◎将来都市像から導かれるまちのイメージ

#### ■ 環境快適空間創造のまち

森林や水辺環境などの自然と共生し、循環型の快適な環境空間を創造するなかで、単に経済的・物質的に豊かなだけではなく、自然の恵みを大切にし、市民が身体も心も健康で安心できるまちを目指します。

## 「亀山市地域医療再構築プラン」(抜粋)

### ◎基本戦略3 健康文化・亀山モデルの創造

「自分の健康は自分で守る」を基本とし、「市民と行政が一緒になった健康なまちづくり」を進めるため、行政の役割と市民の役割を明確にし、市民が主体的な行動がとれる仕組みをつくっていくことを目指します。

### 5) 健康都市連合への加盟

- 日本が所属するWHO西太平洋地域事務局の「健康都市連合」は、都市に住む人の健康を守り、生活の質を向上させるため健康都市に取り組んでいる都市のネットワークを広げ、各都市の経験を生かしながら、国際的な協働を通して健康都市の発展のための知識や技術を開発することを目的としています。都市間交流や健康に関する情報の共有などが図られることから、本市の健康推進と健康都市づくりへの参考とするため、「健康都市連合」への加盟について検討します。
- WHO健康都市に関する情報を広く提供するとともに、WHO健康都市の実現に賛同する都市等のネットワークを構築することにより、日本における各都市の地域特性に応じたWHO健康都市の実現に寄与するために、健康都市連合日本支部が発足しています。現在25都市が加盟しており、日本支部会員間はもちろん、国内・国外への健康都市に関する情報提供や交流を行い、ともに健康都市を目指していることから、こうした都市との積極的交流を図るため、日本支部への加盟についても検討します。
- 市民の皆さんにも健康都市連合や健康都市連合日本支部の総会・大会に参加いただき、健康都市づくりへの協力や市民自らの健康に関する自主的な活動を促進します。
- まちづくりを推進するうえで、「健康」をキーワードに、ひとの健康やまちの健康など、健康づくりを文化として、まちづくりの基本とする考え方があります。健康都市連合への加盟をきっかけに、市民と行政が一体となった健康都市を目指し、総合的な保健行政を目指す決意表明として「健康文化都市」の宣言をするなど、第1次亀山市総合計画後期基本計画への位置づけについて検討します。